

## 臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

本研究について	<p>本研究は、静岡県国民健康保険団体連合会が市町国民健康保険および後期高齢者保険加入者の方の健診受診結果、医療レセプト、介護保険審査データを突合して、匿名化处理をした上で静岡県立総合病院に提供した資料を用いて行います。</p> <p>研究対象者に対して、利用目的を含む本研究についての情報を静岡県立総合病院・静岡県国民健康保険団体連合会・静岡県のホームページ上に公開します。</p>
研究課題名	静岡県市町国民健康保険および後期高齢者保険加入者のデータベースによる医学的エビデンスの創出のための解析研究 - KDBデータを用いた大動脈弁置換術後の成績の検討 -
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	心臓血管外科 植木 力 和田拓己
研究期間	2021年3月から2022年3月
対象者	2012年度以降の静岡県市町国民健康保険あるいは後期高齢者保険加入者
当該研究の意義・目的	<p>心臓弁膜症は高齢者における重要な健康課題となっています。特に大動脈弁狭窄症に対しては近年、経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)などの低侵襲治療が急速に発達しており、今後ますます適応が拡大されることが予想されます。しかし、このような技術のもとになる生体弁を用いた大動脈弁置換術後の生存率や再手術、出血・塞栓合併症などの長期間での成績についてはまだ我が国での詳細なデータが十分に得られてはいません。</p> <p>今後の大動脈弁疾患の治療を考えていく上で、本邦での大動脈弁置換術後の患者さんの状況を把握して、現在の手術治療の改善点を検討することが重要です。</p> <p>本研究では、静岡県市町国民健康保険・後期高齢者保険の加入者における医療・介護レセプトデータを用いて、大動脈弁置換術後の長期間の治療成績を検証することを目的とし解析を行います。</p>
方法および研究で利用する試料・情報について	静岡県国民健康保険団体連合会からハードディスクに保存して提供された2012年度以降の静岡県市町国民健康保険加入者および後期高齢者保険加入者の匿名化された健診結果、医療レセプトデータ、介護保険審査データの突合データを用いて、当院リサーチサポートセンターにおいて解析を行います。なお、データは研究対象者個人を直接特定できる情報を取り除いた状態で研究に利用されます。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。

資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問い合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。 静岡県立総合病院 心臓血管外科 植木 力 和田拓己 代表 054-247-6111